参考２

増築棟の目指す姿

（ワーキンググループでの検討結果）

【グループＡ】

①来庁からお帰りになるまですべての時間を快適に過ごせる庁舎

来庁者の動線を考慮した窓口配置とし、分かりやすく利用しやすい庁舎を目指します。

また、プライバシーに配慮した、誰もが安心して利用できる環境を整備するとともに、全ての方が過ごしやすいユニバーサルデザインを意識した庁舎を目指します。

【グループＢ】

②災害の拠点となる安全・安心な庁舎

・高い耐震性を確保するとともに、上階を執務室とし、地震、水害などの災害に強い庁舎を目指す。

・発災後もライフライン等の庁舎機能を維持することができる庁舎を目指す。

③環境にやさしく経済的な庁舎

・エネルギー効率を考慮した動線の確保、自然エネルギーの活用を考慮したデザイン、高効率な省エネ機器の導入などにより、省エネルギー化を図る。

・再生可能エネルギーを導入し、温室効果ガスの削減を図る。

【グループＣ】

案１　④効率的で快適なフレキシブル庁舎

ＩＣＴで効率化し、快適な空間で全てが充足し、物理的にも職員の気持ち的にも満足する、多様な働き方に対応できる庁舎

案２　④柔軟で快適なスマート庁舎

組織や働き方の変化に強く、デジタルで支えられた快適な庁舎

案３　④快適性と効率性を備えた次世代庁舎

明るく開放的な空間で、ＩＣＴによる省力化を実現する庁舎